

NPO 法人 横浜金沢文化協会 会報

2018年9月号

しおさい

No. 46

Homepage <https://www.yk-bunka.com> E-Mail ykbunka@gmail.com

(春秋発行)

金沢区長浜の『旧1号停留所(検疫資料館)』が国の登録有形文化財に —登録に寄与があった文化協会の交流団体が感謝状を受領—

文化協会は、「歴史・史跡・文化財等の調査伝承保全活動」の一つとして「旧長濱検疫所1号停留所(横浜検疫所検疫資料館)(金沢区長浜107-8)の保全」を掲げている。そこでこの保全に取り組んでいる野口英世細菌検査室保存会(以下、保存会。ただし、8月からNPO法人野口英世よこはま顕彰会と改称)の活動を協会会員で保存会の金沢支部である野口英世金沢委員会を通じて支援してきた。

保存会の活動が一つの契機となり、平成30年5月10日、「旧1号停留所」が国の有形文化財(建造物)に登録。建造物では「金沢園」に続く登録で、区としても重大事。



記念式典の日の1号停留所...明治期の一流ホテルの雰囲気を残す



平成30年7月14日、横浜検疫所主催で「登録記念式典」が開催され、保存会などが感謝状を受領。保存会は毎年の横浜検疫所公開日に検疫資料館(旧1号停留所)の説明役を引受け、また展示品の保全に協力



感謝状授与

保存会を代表して田中会長が受領してきたことが登録に寄与したとされた。

治外法権撤廃で明治32年から外国船も含めた検疫を実施するため、横須賀の「長浦消毒所」を移転する形で明治28年、金沢村大字柴(金沢区長浜)に大規模な「長濱消毒所」が開設。1号停留所は感染が疑われる船客の一時的な収容施設で、開設時の建物群の一つ。翌年に「長濱検疫所」、昭和22年に「横浜検疫所」と改名。昭和60年、ほとんどの建物が撤去されたが、「検疫資料館」として残された。

(田中常義)

区制70周年記念参加事業 文化協会主催『連続歴史講座Ⅰ～Ⅳ』

現代から800年前までタイムトラベル!

—横浜金沢の歴史を語るに相応しいカリスマ講師をお迎えして—

文化協会では金沢区制70周年記念参加事業として、現在考えられる最高の講師陣による連続講座で、現代から中世までタイムトラベルする企画を用意しました。ご期待ください。9月から申し込み受付開始予定で、詳細についてはチラシ・ホームページなどでご案内します。(講演スケジュールは右記、なお現演題は予定です。)

金沢地先埋め立て状況
(昭和53年)明治初期、富岡海岸
横浜開港資料館作成絵葉書金沢八景「乙船の帰帆」
(安藤広重)称名寺絵図
(称名寺蔵、1323年作成)

- I. 平成30年11月25日(日) 13:30~15:00
場所: 金沢公会堂多目的室、(定員100名)
演題: 金沢の海辺の変貌と金沢地先埋め立て
講師: 田中常義氏(NPO法人野口英世よこはま顕彰会理事長、元横浜市港湾局理事・港湾整備部長)
- II. 平成30年12月16日(日) 13:30~15:00
場所: 金沢地区センター大会議室、(定員80名)
演題: 幕末・明治の金沢
講師: 西川武臣氏(横浜開港資料館館長)
- III. 平成31年1月12日(土) 13:30~15:00
場所: 金沢地区センター大会議室、(定員80名)
演題: 金沢八景の成立と展開
講師: 西岡芳文氏(前神奈川県立金沢文庫学芸課長、上智大学文学部特任教授)
- IV. 平成31年2月16日(土) 13:30~15:00
場所: 新金沢公会堂ホール(定員550名)
演題: 金沢八景の歴史とその魅力
講師: 五味文彦氏(東京大学名誉教授、放送大学名誉教授、横浜市ふるさと歴史財団理事長)
(平山次清)

かねさわ杯 かるた大会開催予定

金沢区制70周年を記念し、当文化協会は平成31年3月16日(土)に第1回「かねさわ杯 かるた大会」を開催する。これは今年3月にプレ事業として実施した「新春かるた大会」を引き継いだもので、今後も恒例化される。会場は市立金沢中学校格技場を予定、講師も招き本格的競技会を目指している。



講師の方々による迫力ある模範競技(新春かるた大会)

講師の方々による迫力ある模範競技(新春かるた大会)を引き継いだもので、今後も恒例化される。会場は市立金沢中学校格技場を予定、講師も招き本格的競技会を目指している。

(坂下文字)

畠山重保公顕彰墓参会



6月22日は畠山重保公の命日で、当文化協会では毎年、釜利谷南にある公の廟所で顕彰墓参会を開催しています。禅林寺と東光禅寺住職の読経で法要が営まれましたが、今年は鎌倉市民などの参加もあり、21名もの参列となりました。この廟所には、公の墓と伝わる五輪塔があり、平成25年に横浜市の登録地域文化財に指定されています。

(川浪舎人)

平成30年度塩田による塩づくり教室



「塩田による塩づくり教室」を、平成30年8月5日(日)と8月25日(土)の2日にわたり実施した。この事業は、本協会会員を中心に結成されている「塩田による塩づくり実行委員会」が、金沢区地域振興課より区の文化伝承事業として委託されて行っているもので、今年度で第17回目を数えている。

8月5日(日)に、海水から塩を作る塩づくり教室を海の公園バーベキュー場側の砂浜にて開催した。小学生15名、保護者12名、スタッフ16名の参加があった。天気は快晴とはいかなかったが、高温で海水の蒸発には良い状態であった。砂浜に塩田を4面設置、4班に分かれ、塩づくりを体験した。各班、海水汲み、海水撒布、畝づくりを2回繰り返す、鹹砂(かんさ)の濾過、鹹水採取、煮詰め、ニガリ抜き等の一連の作業をスタッフのリードで体験し、手際よく作業を終えた。



煮詰め作業中に昼食をとり、その後グループ別にスイカ割りも行って、自作の塩をかけて食べる子もいた。事故や熱中症もなく4班とも予定通りよい塩を採取、参加した皆で分け合い、2時過ぎに無事解散した。

昔、塩を運んだ塩の道を歩く体験は8月25日(土)に行われた。9時より金沢公会堂多目的室で、資料映像やテキストを使い、金沢区での塩づくりの歴史や塩田による塩の作り方の作業、その塩を鎌倉等に運んで交易していたことなどを学習した。

その後、参加小学生13名と保護者8名、教員1名が2グループに分かれ、実行委員の指揮の下、鎌倉時代以降の「塩の道を歩く」に出発。当初の予定通り、「朝夷奈切り通し」を越え、鎌倉・十二所「光触寺」・塩嘗地蔵までのコースを歩き、途中、横浜金澤シティガイド協会スタッフの説明を聞きながら、往時の塩運びの様子に思いを巡らした。ただここ数年両日を通して、参加者が減少しているのが残念である。

(深津米男)



横浜金沢写真連盟・横浜金沢観光協会合同による写真公募展



今年3月、金沢区内はもとより、県内外で広く活動する団体や施設の協力を得て、写真の技術向上、金沢区の魅力発信を目的に、横浜金沢写真連盟・横浜金沢観光協会合同で写真の公募を行いました。

358点の応募があり、審査の結果、金沢部門56点、自由部門86点を入選としました。

6月12日(火)から6月17日(日)、横浜市民ギャラリーにおいて公募展を開催し、入選作品を展示しました。詳細は当協会ホームページをご覧ください。

(佐野雅子)

金沢区書道協会展



5月2日(水)から5月7日(月)の6日間、磯子区民文化センター(杉田劇場)ギャラリーにて金沢区書道協会展を開催しました。39作品の出展があり400名を超える方々にご覧いただきました。



今年度は全員「半切」というサイズに統一しましたが、他は縦型、横型、掛け軸、額装など特に制約を設けませんでした。その結果、漢字・仮名のほか墨色にこだわった少字数や現代書、絵を伴ったものと内容も含め、大変バラエティに富んだ作品展となりました。

(千葉昌子)

俳句・短歌ポスト

平成29年度後期(第19回) 表彰式

当文化協会の横浜金沢俳句・短歌ポスト実行委員会が主催する第19回目の表彰式が平成30年4月25日(水)、金沢公会堂の多目的室で挙行された。対象作品は平成29年9月1日から平成30年2月28日の間に区内各所に設置されたポストに投函、または俳句大会等で投稿されたもので、俳句127句、短歌27首でした。その中から、金沢区の花鳥風月を見事に詠みあげた俳句10句、短歌5首が選定・表彰された。表彰作品の詳細は当協会ホームページを参照ください。(野中建吾)



受賞者・選者・プレゼンターの一同

表彰俳句の例
 横浜市金沢区長賞
 秋霖や山羊は聖者の貌で佇つ
 金沢区釜利谷東 稲田 涼子

表彰短歌の例
 横浜市金沢区長賞
 秋深しもの言いたげな子猿の目
 金沢区釜利谷東 大江 明美

うぶ声をあげんばかりに
 昇り来し
 金沢沖の
 初日を拝す
 金沢区六浦南 岩澤 正春

初めての俳句教室

平成29年10月18日(水)から平成30年3月21日(水)の半年間、並木コミュニティハウスにおいて「初めての俳句教室(全6回)」を開催。当文化協会文芸部門の野中副理事長が指導しました。生徒さんは中年男女12人。教室のテーマは「俳句を基礎から学び、四季の彩りを詠んでみませんか」。生徒の皆さんは月毎に上達。俳句の真髄を汲み取って頂きました。(野中建吾)



金沢区民俳句大会

金沢俳句会では当文化協会との共催で平成30年6月3日(日)、金沢地区センターの会議室で「第20回金沢区民俳句大会」を開催しました。金沢区内在住または勤務の俳句愛好家46人が集まり、和気藹々の中、真剣に自作の俳句を披露しあい、互選の結果上位10句が選出され、表彰されました。(野中建吾)



金沢俳句会北野会長の俳話

金沢区民短歌大会

金沢区民歌人会では、当文化協会との共催で、毎年2回「金沢区民短歌大会」を開催しています。今回は5月27日(日)八景コミュニティハウスで開催。和気藹々の雰囲気の中、真面目にお互いの作品を忌憚なく、推敲・添削し合い、互選により、上位作品9首を決定しました。互選上位9首は当協会ホームページを参照。(野中建吾)



15人の短歌愛好家が参加

金沢区民春季囲碁大会

横浜市内各区囲碁連盟対抗戦の区予選として、平成30年5月20日(日)に区民春季囲碁大会を金沢地区センターで開催。60~70歳代を中心に、最高年齢が90歳の約60名で戦いました。結果、各段級位毎に1名、合計6名の区代表が選ばれました。その代表チームが6月の市内各区対抗戦に出場しましたが、残念ながら1勝3敗で敗退。

10月14日(日)には予選として秋季大会が開催されます。奮ってご参加ください。また、その予選会で区代表の座を獲得された方々の各地区対抗戦での活躍をご期待申し上げます。

(高橋徳美)



各区対抗戦での熱き闘い

金沢民謡協会 第4回 おさらい会

今年で結成4年目を迎えた金沢民謡協会。7月16日(月)ヴェルクよこすかにて、今回は12支部が集結し、春に開催のおさらい会を実施しました。100余りの曲を、個人・合唱・合奏・舞踊とさまざまな形で披露し、横須賀市民及び金沢区民の皆様に発表することが出来ました。

秋に開催の民謡のつどいは10月8日(月)横須賀芸術劇場ベイサイド・ポケットで開催です。(阿部きみえ)



生涯現役かなざわ会講演会

危険ドラッグについて(平成30年5月26日)

講師: 日本くすり教育研究所代表理事 加藤哲太氏

場所: 金沢区能見台地区センター2階多目的室

参加者: 37名

テーマ: 医薬品と薬物の乱用

- ①現状の問題点~薬物の乱用状況~
 - ②危険ドラッグ ③素敵な脳機能について
 - ④脳内の情報伝達メカニズム
 - ⑤覚醒剤を使用したとき ⑥薬物の影響
 - ⑦向精神薬 ⑧ベンゾジアゼピン系薬物
 - ⑨承認用量でも漫然投与で依存性 ⑩薬物乱用頭痛
 - ⑪薬剤の使用過多による頭痛 ⑫モルヒネ 依存症
 - ⑬モルヒネ依存(中毒)に関する正しい知識
 - ⑭第四次薬物乱用防止五か年戦略における主な施策
 - ⑮学校における薬物乱用防止教育及び啓発の充実強化
- 薬物から自分を守る大切さを、来場者の皆さんと一緒に考えました。

(岡野尚充)



講師: 加藤哲太氏



講演会の様子

横浜金沢シティガイド協会設立20周年記念 「金沢八景・金沢文庫と歴史の道」

横浜金沢シティガイド協会は、設立20周年記念行事として、金沢区の歴史と文化を紹介するガイドを企画、実施した。金沢区役所の後援で、参加費は無料とした。当日は、20周年を祝うような晴天に恵まれ、参加者は56名となった。

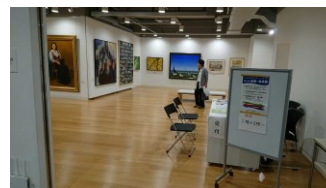
源頼朝が伊豆三島明神を勧請した瀬戸神社からスタート。琵琶島神社では江戸の観光名所として広重が描いた金沢八景の版画、姫小島水門跡では泥亀新田、明治憲法草創の碑の前では、金沢は憲法にゆかりの地であること等の説明を行った。旧国道沿いの「歴史の道」に並ぶ中世から続く寺社を訪ね、龍華寺では本堂内を特別拝観させていただいた。県立金沢文庫では学芸員の講演を聞き(30分)、特別展「御仏のおわす国」を観覧した。

(横浜金沢シティガイド協会)



金沢区美術協会創立10周年記念 第10回 金美・会員展

金沢区美術協会創立10周年記念第10回金美・会員展を平成30年6月5日から11日まで、横浜市民ギャラリーの1、2階で開催。会員の作品と市内他区のアート協会、団体からの賛助出品によるコラボ展とした。会員の出展は77名、141点、賛助は16名、16点でした。号数は100号以上が16点、ジャンルも油彩・水彩・パステル・彫刻と多岐にわたり、見る人に感動を与えるものとなりました。又、初の試みとして実施したコラボ展で他区との交流も図ることが出来、来場者数も好天に恵まれ、2000名で好評裏に終了しました。(大滝照平)



金沢吹奏楽団 第47回定期演奏会

平成30年6月3日(日)、逗子文化プラザ・なぎさホールへご来場の皆様及び、ご協力を賜りました皆様に厚く御礼申し上げます。

指揮: 波田野直彦、演奏: 金沢吹奏楽団、司会: 遠藤弘子で演奏会は進められ、シー・オブ・ウィズダム カンタベリー・コラール スペイン狂詩曲 スクーティン・オン・ハードロック タイム・トゥ・セイ・グッバイ アイル・リメンバー・エイプリル デューク・エリントン・メドレー(スィングしなけりゃ意味がない他)の曲目が披露された。(寺田早苗)



第51回春季大会 金沢ふれあい文化祭

平成30年4月15日(日)金沢産業振興センターで開催した「金沢ふれあい文化祭」。金沢区を中心に活躍する民謡・舞踊・太鼓・フラダンス・リズム体操・カラオケなどの先生と生徒さんが多数出演し、50組の発表を行いました。華やかなステージに、来場者からは惜しめない拍手が送られました。

秋季大会は10月21日(日)産業振興センターで開催します。(阿部さきみえ)



旧川合玉堂別邸茶会 金沢茶道会

金沢茶道会は平成30年5月5日(土)、京急富岡駅近くの旧川合玉堂別邸庭にてお茶会を催しました。多くのお客様がお越しください、五月晴れの下、野点によるお点前でお菓子とお抹茶を召しあがっていただきましたが、本当においしいと言っていました。紅傘の下に「日々是好日」の短冊、季節



のかわいらしいお花を生け、緑の木々を抜ける風も爽やかでした。東方には房総半島も望め、画伯もこうして景色を楽しみながら絵を描いていたのかと思いをはせました。(田宮宗初)

緑の大茶会 金沢茶道会

平成30年5月25日(日)に三溪園の鶴翔閣で、横浜ポートヒルライオンズクラブ主催による緑の大茶会を催し、受付総数262名の方々にお茶を召し上がっていただいた。第1席は裏千家 田中宗美席。掛物「山高水長」の前に繭籠に白蝶草・河原なでしこが生けられ、御園棚での立礼のお点前。御干菓子は麩のやきと和三盆でした。第2席は金沢茶道会会員の奉仕による体験コーナー。表千家14代家元扇面「瑞気生」の軸に、甘茶・春咲秋明菊・金糸梅等を有馬籠に生け、自ら茶筌でお茶を点てる楽しみを味わっていただいた。第3席は藤原翠櫻席主による煎茶席。禅梁老師筆「天共白雲暁」のお軸の前に香炉



香箱を置き、脇に盛物を飾った。第4席は表千家田宮宗初席。床に「山青花欲然」、道安風炉に釣鐘の形の釜をかけた。(田宮宗初)

あじさい祭茶会 金沢茶道会

平成30年6月16日(土)と17日(日)の両日、八景島にてあじさい祭茶会を催した。八景島の紫陽花が豪華に咲き誇る中、客船ターミナルの中で大勢のかたにお茶を召し上がっていただくことができた。紅傘に「河上瑞峰青」の短冊を掛け、立礼でお客様をお招きした。「ここ数年、毎年楽しみにお茶をいただきに来ています。」と言って下さる方も増えて、うれしい気持ちで胸いっぱい。近くの幼稚園から先生方に引率された10人あまりの園児もおいしい



いとお菓子とお抹茶を楽しんでくれた。二日ともお天気も良く、年々多くなるお客様をお迎えできて幸いでした。(田宮宗初)

煎茶道 慈善茶会

平成30年4月15日(日)、前夜からの暴風雨も明け方には治まり、緑あふれる三溪園に於いて金沢煎茶道会協力・ライオンズクラブ主催の慈善茶会が開催された。春のしつらえの席には、「茶烟永日香」の軸を。お花は飯塚小玗斎作の籠に小手毬・都忘れ等が活けられました。お客様には宇治の玉露と松江から取り寄せた藤の花のお菓子を味わって頂き、主と客共に和やかに楽しみました。(坂下静雅)



金沢三曲会研究会

平成30年6月3日(日)、横浜市長浜ホールにおいて金沢三曲会の研究会を開催しました。お昼休みでの出演者全員の和やかな写真撮影を挟んで、プログラムは全16曲。箏二重奏「さらし風手事」に始まり、源氏物語を題材にした「石山源氏」の上・下、華やかな現代曲まで、熱のこもった演奏だった。

(佐野史瑞子)



川浪舎人色鉛筆植物画展

大船フラワーセンターは、平成30年4月から日比谷花壇系などによる指定管理者制に管理を移行、ネーミングライツ(命名権)を導入するとともに、設備改装して開業しました。4月28日~5月6日の9日間、改装後初めてとなるグリーンハウスにて色鉛筆植物画を展示しました。展示会場にはセンター入場者の約7割の方々立ち寄り下さいました。植物の移り変わりの作品やカントウタンポポとセイヨウタンポポ、ムベとアケビ、モクレンとコブシの違いなどの作品を展示しましたが、口々に「こんな作品見たことがない」、又外人は「never see」と

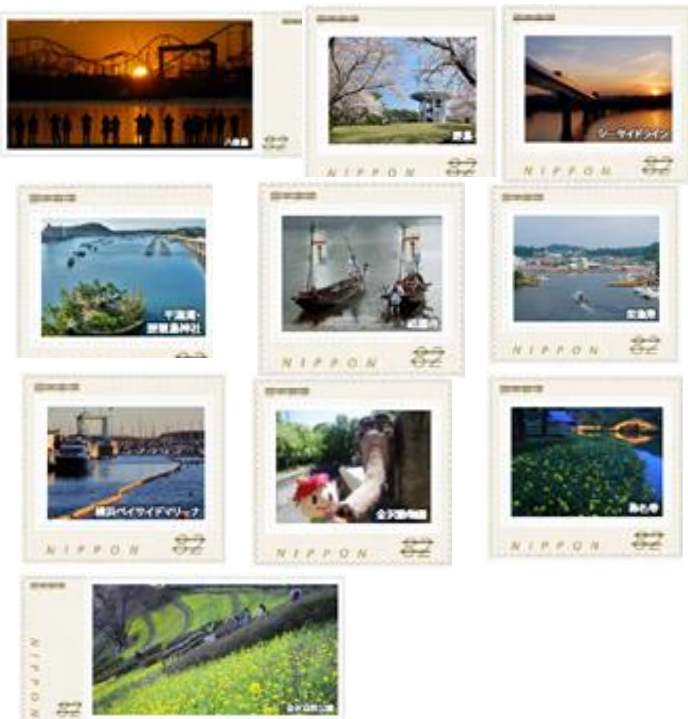


連発しておりました。これからも初心を忘れず、人々に感動を与える作品を描き続けていく決心をした展示会でした。

(川浪舎人)

区制70周年記念切手を発売

金沢区制70周年記念にオリジナルフレーム切手を出したいので協力をしてほしいと、区役所総務課から依頼を受け、携わることとなりました。横浜金沢写真連盟と横浜金沢観光協会で公募し、著作権を譲渡された作品で、出来るだけ新しいものを選んでほしいとのこと。金沢区内を網羅出来るよう、また色、構図等考えながら選定。場所の特定、作者本人、撮影場所等の許可など沢山の手続きを経て、5月15日(火)に郵便局より発売されました。1シートが82円切手×10枚で1,300円、1,000シートが発売されました。(佐野雅子)



第17回瀬戸神社居合道奉納演武

5月19日に開催された居合道奉納演武は多くの方に見て頂こうと17年前にスタート。「心身を練磨し礼を重んじる居合道の精神を青少年にも伝えていきたい。」と主催の高田學道先生は語る。8流派約60名の剣士一同が修練を披露する瀬戸神社の境内は見



学者で埋まり、「凜とした武士道を間近に見られて良かった。」など感嘆の声が上がった。(岩森耕太郎)



野口の生涯と横浜

—横浜から世界へはばたく—

野口英世細菌検査室保存会(8月からNPO法人野口英世よこはま顕彰会と改称)は、7月23日から12日間、金沢区役所1階展示スペースにおいて、長浜ホールの協力も得て、パネル展示を行いました。野口博士の長浜検疫所勤務時代のペスト菌発見の功績(明治32(1899)年)のほか、現在の長浜検疫所奥に残されている明治時代の木造建築「1号停留所(一等船客の一時的宿泊用。平成30年5月に国の登録有形文化財に指定)」を紹介すると共に新たに



発見された資料や等身大の野口像、関連の顕微鏡といった実物も展示し、好評を博しました。(平山次清)

こども顕微鏡教室

手作り顕微鏡と本物の顕微鏡でミクロの世界を探検

平成30年8月18日(土)、横浜市長浜ホールでこども体験教室が行われた。従来から野口英世細菌検査室保存会(8月からNPO法人野口英世よこはま顕彰会と改称)が同ホールと共催で実施してきたもの。参加のこどもは午前・午後合わせて23名。手作り顕微鏡は、ペットボトルのフタに2mmの穴を開け、そこにレンズ代わりにガラスビーズを入れ、口の空間部分にセロテープで羽毛や花粉など固定して観察する。ついで本物の顕微鏡でゾウリムシを観察。こどもたちは興味深くミクロの世界を体験した。(木下文雄)



手作り顕微鏡を製作中



本物の顕微鏡で観察

区民活動センター展示ケース

金沢区役所2階にある区民活動センターの受付カウンター横隣に、金沢区民の作品を展示できる展示ケースがある。

当協会も会員の作品などを順次展示し、文化活動を紹介している。

◇展示(予定含む)

6月1日~30日 絵画水彩

9月1日~30日 書道

10月1日~31日 写真

1月4日~31日 生け花

2月1日~28日 文芸作品

(坂下文子)



水彩画「滝」
(三浦正雄さん作)

個人会員紹介

(文芸) 藤野大輔

生まれも育ちも金沢区。墓地は龍華寺さんに確保。これで安心。生まれ育った金沢区を少しでも知りたいと、独自に課題を見つけては、ボケ防止のため調査しているところです。

現在、区内に残されている句碑の移設状況を調査し、冊子にまとめているところです。

金沢区の歴史を知れば知るほど楽しく、認知症予防になるものと思っています。

文化協会の活動状況を見聞し、自己研鑽に努めたいと思っています。



賛助会員紹介

竹崙山 禪林寺

当山は、明応2(1493)年、室町時代の終わるころ、開山を下総の国東昌寺二世能山聚藝大和尚、開基を第四代鎌倉公方足利持氏公として創建されました。江戸時代には釜利谷を永世の地とされた伊丹永親公が中興開基となり、伊丹氏の血族が江戸城紅葉山東照宮別當及び浅草寺別當を拝命していた縁により徳川家康公の御神影が下付されました。又、崙山重忠公と釜利谷の地の縁により、御子息重保公の墓所をお守りしています。家康公の命日、4月17日には禅林寺本堂にて、重保公の命日6月22日には墓所にて法要を今も営んでいます。その他に金沢八景の一つ小泉夜雨にある弁天堂が再建される際に当山十六世松穏和尚が尽力した縁でお堂に祭られていた御木像も現在、当山書院にて鎌倉の仏師の手で修復され安置されています。能見堂稲荷、山王権現、観音堂などの縁も歴史の中に結ばれています。



個人会員紹介 (総合文化) 四元くみ子

私は金沢区に住んで35年になります。ある日、困っているペルー人の方と知り合ったことから外国人支援、国際交流の団体に入り、もう22年になります。全く知らなかったスペイン語も独学で学び、今では外国人の友達も増えました。現在、区役所2階の金沢国際交流ラウンジにいます。ぜひ外国人に日本の文化や良さを紹介したいと思っています。

文化協会に入り、多くの方々から知恵をいただきたいと思っています。



賛助会員一覧 (50音順)

(法人)

- ・赤ひげ小川笠船法要会
- ・一般社団法人 金沢区三師会
- ・医療法人社団 景翠会 金沢病院グループ
- ・医療法人社団 湘南太陽会 鳥居泌尿器科・内科
- ・植周造園株式会社 御菓子司 横浜紅谷
- ・金沢白百合幼稚園 竹崙山 禅林寺 (新会員)
- ・白山 東光禅寺 有限会社 清水薬局
- ・有限会社 オッターブルー

(個人)

- ・芦部 久美子 ・川田 俊博 ・桑原 龍治

追悼

橋本藤子さんの急逝を悼む

平成19年に金沢文化協会に入会し、理事と運営委員となった橋本藤子氏。

その後、当協会が法人化されて11年。その間、理事と事業部長を務めるかわら、自分の足で歩く金沢の歴史研究の先頭に立ち、横濱金沢シティガイド協会の活動に尽力されました。どんなに忙しくても、難しい仕事でも愚痴を漏らさず、前を向いて一歩ずつ歩み続けてこられたその姿には敬服せざるを得ませんでした。

当協会のさらなる発展を願ってなお一層のご活躍を期待していた最中、71歳という若さでの急逝は、誠に残念としか言い様がありません。今は安らかにとお祈りいたします。(深津米男)

追悼

高橋清溪さんを悼む

平成30年2月17日、周囲にも知らせず亡くなった高橋清溪氏。人に優しく、いつも楽しい話と笑顔分け与えてくださったその人柄が偲ばれます。高橋さんは、平成16年、理事に就任。平成23年からは副理事長として活躍されました。晩年は事業部を担当し、横濱金沢文化協会の活動を支えていただきました。また、金沢区書道協会の会長も長く務められました。

三溪園門柱の題字、当協会の行事の看板、協会のロゴ、設立20周年記念クリアファイルの「悠」の文字と後世に残る良い仕事をされました。まだまだご活躍が期待される85歳で旅立たれたことを誠に残念に思います。心からのご冥福をお祈りいたします。(坂直孝)

文化協会行事予定(平成30年10月~平成31年3月 日程順)

多くの行事は開催日が近づくと文化協会のホームページに詳細案内が掲載されます。また、前回の様子などもあります。

行事名	実施日時	実施場所	問い合わせ先電話番号
金沢区民文化祭 金沢区日本舞踊連盟公演	10月7日(日)	磯子区民文化センター・杉田劇場	045-783-3008
体験講座「吟詠を楽しむ」	10月8日(月・祝)	金沢地区センター 大会議室	045-781-7933
金沢区民文化祭 民謡のつどい	10月8日(月・祝)	横須賀芸術劇場ベイサイドポケット	045-701-6628
金沢文化芸術祭	10月13日(土)	杉田劇場	045-783-3008
金沢区囲碁大会(秋季)	10月14日(日)	金沢地区センター	045-780-3199
朗読「たちばな」発表会&義太夫	10月14日(日)	横浜市大八景キャンパスビデオホール	045-785-4757
金沢区民文化祭 金沢区音楽のつどい	10月21日(日)	磯子公会堂	045-771-8783
金沢ふれあい文化祭(秋季)	10月21日(日)	金沢産業振興センター	045-783-7869
金沢区民文化祭 吟と舞の祭典	10月27日(土)	金沢産業振興センター	045-783-2284
金沢区民俳句大会(後期)	10月28日(日)	金沢自然公園(吟行) 同公園内 ののはな館(句会)	045-781-5044
金沢区民文化祭 金沢三曲演奏会	10月28日(日)	磯子公会堂	045-781-1483
金沢区民文化祭 茶会	11月10日(土)	金沢地区センター和室・2階ロビー	045-782-8079
金沢区民文化祭 華道展	11月10日(土)11日(日)	金沢地区センター大会議室	045-701-4181
フォーラム KANAZAWA	11月17日(土)	金沢区役所	045-788-7878
初心者向け俳句教室(全6回)	11月17日(土)	並木コミュニティハウス	045-781-5044
金沢区民短歌大会	11月23日(金・祝)	八景コミュニティハウス	045-782-8778
連続歴史講座Ⅰ 「金沢の海辺の変貌と金沢地先埋立」	11月25日(日)	金沢公会堂多目的室	045-782-0705
金沢区美術協会 金沢区美術展	11月22日(木)~27日(水)	能見台地区センター会議室 A・B	045-771-7543
金沢区民文化祭 区民の作品展	11月6日(水)~10日(土)	区民ギャラリー 金沢公会堂多目的室	045-788-7890
金沢区民文化祭 金沢区小・中学校音楽祭	12月2日(日)	横浜市立大学	045-771-6167
金沢区民文化祭 小・中学生の作品展	12月4日(水)~8日(土)	金沢公会堂多目的室	045-788-7806
野口英世よこはま顕彰会 創設20周年記念パネル展・講演会	12月9日(日)~15日(土) 12月12日(水)	パネル展:区民ギャラリー 講演会:金沢公会堂多目的室	045-786-4618
連続歴史講座Ⅱ 「幕末・明治の金沢」	12月16日(日)	金沢地区センター大会議室	045-782-0705
連続歴史講座Ⅲ 「金沢八景の成立と展開」	平成31年 1月12日(土)	金沢地区センター大会議室	045-782-0705
連続歴史講座Ⅳ 「金沢八景の歴史とその魅力」	2月16日(土)	金沢公会堂ホール	045-782-0705
海苔づくり教室	2月17日(日)	野島公園	045-788-7801
金沢吹奏楽団チャリティコンサート	2月17日(日)	金沢公会堂ホール	090-7189-5298
金沢民謡協会 おさらい会	2月18日(月)	金沢公会堂ホール	045-785-3506
第37回南国忌	2月24日(日)	長昌寺	080-1040-1773
かねさわ杯 かるた大会	3月16日(土)	金沢中学校格技場	045-774-7077

訃報

長年にわたり理事、事業部長として、さまざまな主催事業の推進役を務めていただいた橋本藤子さんが、去る平成30年6月6日に急逝されました。

また、一昨年より運営委員をお願いしていました白崎勇紀さんが平成30年8月5日にご逝去されました。

御両氏のご冥福を謹んでお祈り申し上げます。

会報編集委員

編集長	阿部孝三
副編集長	内園一廣
編集委員	阿部きみえ 金間誠一 川浪舎人 佐野静子 鈴木達洋 塚本眞砂子 宮崎裕子

新会員一覧(50音順 敬称略)

(総合文化) 四元 くみ子、(華道) 斉木 一美

顧問一覧(50音順 敬称略)

小幡 正雄、片岡 順一、木村 久義、国吉 一夫、黒川 澄夫、黒川 勝、佐野 和史、篠原 豪、鈴木 節夫、高井 祿郎、高橋 徳美、竹野内 猛、松崎 淳、松本 純、谷田部 孝一

編集後記

新編集長の元、編集委員一丸となって「しおさい」作成に取り組みました。金沢区制70周年を迎え、たくさんの方の企画が予定されています。今号は、会員の方々の活動を伝えるとともに、これから行われる催しも掲載しています。金沢区の歴史をふり返り、未来を見つめて文化発展に努めていきましょう。(塚本)